

# 平成28年度 杉並区施策評価表 I

( 00004 )

施策	04	利便性の高い快適な都市基盤の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	都市計画課	関係課 交通対策課 土木管理課 土木計画課 杉並土木事務所

施策目標 道路と鉄道の立体交差化により、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、地域の安全性や利便性が向上するとともに、地域コミュニティの活性化が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。また、狭い道路の拡幅や電柱のセッティングが済み、防火性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。

活動指標	成果指標
指標名(1) パリアフリー推進連絡会等の開催回数 算式・指標説明	指標名(1) 区内での定住意向 算式・指標説明 区民意向調査による
指標名(2) 沿線まちづくり活動団体支援数(26年度まで) 算式・指標説明 : 沿線まちづくり活動団体助成数) まちづくり協議会への参加・協力等の回数(26年度まで) : まちづくり活動の助成を受けている団体数)	指標名(2) 都市計画道路(区道)完成延長 算式・指標説明 区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長
指標名(3) 道路拡幅整備距離 算式・指標説明	指標名(3) 算式・指標説明
指標名(4) 南北バス「すぎ丸」運行本数 算式・指標説明	指標名(4) 算式・指標説明
	指標名(5) 算式・指標説明
	指標名(6) 算式・指標説明

区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		目標値	目標年度	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 回	2	2	2	2	/	/	
	活動指標(2)	2 件	3	3	3	43			
	活動指標(3)	3 m	7,732	8,000	6,887	9,000			8,553
	活動指標(4)	4 本	78,882	79,336	79,346	79,530			79,529
成果指標	成果指標(1)	5 %	87.7	87	85.1	88	84.9	90	平成33年度
	成果指標(2)	6 m	7,022	7,022	7,022	7,022	7,022	8,052	平成33年度
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	3,763,930	3,460,111	3,363,480	4,098,216	3,808,411	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	2,624,309	2,090,552	2,042,648	2,159,563	1,953,464		
	(内) 委託費	13 千円	3,133,126	2,728,903	2,673,124	3,295,942	3,052,489		
	常勤職員数	14 人	75.26	67.44	76.07	74.12	85.10		
	再任用職員数	15 人	6.08	7.00	7.11	6.00	6.02		
	非常勤職員数	16 人	7.32	5.49	5.99	4.99	4.99		
	人件費 (14+15+16)	17 千円	693,312	638,035	715,924	691,420	783,933		
	総事業費 (11+17)	18 千円	4,457,242	4,098,146	4,079,404	4,789,636	4,592,344		
	国・都からの補助金等	19 千円	223,420	327,662	322,142	576,425	667,589		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %	/	/	8.5	16.9	12.6		
人件費比率 (17÷18)	21 %	15.6	15.6	17.5	14.4	17.1			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業により、踏切による交通渋滞などが解決できることから、早期の事業実施が望まれています。実施にあたっては、「沿線各駅周辺地区まちづくり方針」に基づき、地域の一体的なまちづくりと併せて進めていく必要があります。</p> <p>狭あい道路拡幅整備については、区民の理解は進んでいるものの、後退部分への花壇等の設置により、消防車や救急車など緊急用車両の通行支障となっており、首都直下地震への備えの観点からも、通行の支障となる物件への対応の強化が求められています。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、さらなる「心のバリアフリー」の普及啓発と合わせ、鉄道駅や道路などのユニバーサルデザイン化の推進が求められています。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>鉄道連続立体交差事業については、京王線事業認可取得後に「事業及び工事説明会」を実施し、工事の着工に向けて大きく前進しました。また、西武新宿線では、まちづくり協議会の活動等が評価され東京都において事業化に向けた検討が始まりました。今後、区においても、まちづくりの検討を進めていきます。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業では、これまでに区内狭あい道路の約3割の拡幅整備が完了し、拡幅整備延長は着実に伸びています。しかしながら、道路に支障物件が置かれるなど緊急用車両通行の妨げになっているケースも見受けられます。このような状況を改善するために、狭あい道路拡幅整備に関する審議会からの答申を受け、狭あい道路拡幅整備条例の改正に向けた準備を関係課と調整しながら適切に行いました。狭あい道路の拡幅を加速するため、速やかな条例の改正が必要です。</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくり推進では、「杉並区バリアフリー基本構想」で定めた重点整備地区(方南町駅周辺地区)である方南町駅の整備が進められ、区立施設においても方南公園の部分改修や和田中学校のスロープ手摺設置工事など整備を進めました。今後もバリアフリー化に向け、引き続き特定事業計画に基づく施設の整備が必要です。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>区民の安全・安心を確保し快適な都市基盤を形成するため、体系的な道路網の整備は重要な政策のひとつです。都市計画道路では「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」にて選定した区施行の優先整備路線について整備を進めるとともに、歩行者が安全に通行できる生活道路の整備を進めていきます。</p> <p>狭あい道路拡幅整備事業では、首都直下地震の切迫性が指摘されている状況下において、防災の観点から狭あい道路の拡幅の重要度はますます高くなっています。そのため、狭あい道路拡幅整備条例の改正に伴い、支障物件の除却や、建替えが終わり建物や塀は後退しているが道路が広がっていない箇所の拡幅に、迅速かつ着実に取り組めます。</p> <p>さらに、踏切による交通渋滞や鉄道による地域分断の解消のため東京都、沿線区市、鉄道事業者と連携して鉄道連続立体交差事業に取り組むとともに、道路・公共施設のバリアフリー化や地域交通の利便性向上のための取組を進め、誰でも安全・安心に移動ができるまちづくりを着実に推進していきます。</p>
--------------------------	---

# 平成28年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 利便性の高い快適な都市基盤の整備】

金額の単位は千円

( 00004 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成27年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 370	新たな地域交通の整備			10,247	2,187	12,434	現状維持
2 371	ユニバーサルデザインのまちづくり推進			94	6,298	6,392	現状維持
3 372	鉄道連続立体交差の推進			33,105	37,962	71,067	推進(拡充)
4 401	登録制自転車置場等の運営			11,048	6,560	17,608	縮小(廃止)
5 402	有料制自転車駐車場の運営			689,689	44,422	734,111	推進(拡充)
6 403	放置自転車対策の推進			200,892	56,984	257,876	現状維持
7 404	自転車等駐車対策協議会の運営			0	1,837	1,837	現状維持
8 405	自転車駐車場等整備			10,665	25,366	36,031	推進(拡充)
9 408	土木事務所維持管理			8,505	10,321	18,826	現状維持
10 412	道路台帳の整備			185,645	73,543	259,188	推進(拡充)
11 414	私道整備助成			199,574	61,365	260,939	現状維持
12 415	道路維持補修			648,761	99,617	748,378	推進(拡充)
13 417	道路の路面改良			699,894	55,543	755,437	現状維持
14 418	魅力ある歩行者優先の道づくり			39,296	30,615	69,911	現状維持
15 419	都市計画道路の整備			65,778	27,203	92,981	推進(拡充)
16 420	狭あい道路拡幅整備			897,546	184,630	1,082,176	推進(拡充)
17 437	南北バスの運行			76,152	17,494	93,646	現状維持
18 444	公園のリニューアル			30,440	6,123	36,563	縮小(廃止)
19 525	中学校の施設整備			1,080	35,863	36,943	現状維持
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				3,808,411	783,933	4,592,344	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成28年度 杉並区施策評価表 I

( 00005 )

施策	05	良好な住環境の整備
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	住宅課	関係課 都市計画課 まちづくり推進課 建築課

施策目標 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市、「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。  
区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっていきます。まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	長寿命化修繕工事の工事が所数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	区営住宅管理戸数	指標名(2)	最低居住面積水準未達の住宅に住む世帯の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	住宅・土地統計調査による(5年に1度。25年度実績値は20年度、26,27年度実績値は25年度調査)
指標名(3)	高齢者住宅管理戸数	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)	民間アパートあっせん申請件数	指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		目標値	目標年度	
			計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 所	2	1	1	1	1		
	活動指標(2)	2 戸	850	944	944	944	944		
	活動指標(3)	3 戸	374	375	375	375	375		
	活動指標(4)	4 件	184	200	175	200	173		
成果指標	成果指標(1)	5 %	91.9	92.0	92.0	92.5	91.0	95 平成33年度	
	成果指標(2)	6 %	21.9	17	19.5	17	19.5	5 平成33年度	
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	1,246,552	1,371,861	1,295,548	1,411,754	1,328,676	特記事項	
	(内) 投資的経費等	12 千円	41,771	114,174	107,972	113,856	113,855		
	(内) 委託費	13 千円	445,911	626,936	562,432	689,590	625,697		
	職員数	常勤職員数	14 人	29.06	27.15	30.78	26.80		29.70
		再任用職員数	15 人	3.01	1.00	1.00	1.00		1.00
		非常勤職員数	16 人	8.00	6.50	7.00	7.50		6.50
	人件費 (14+15+16)	17 千円	284,646	261,637	295,032	261,383	283,006		
	総事業費 (11+17)	18 千円	1,531,198	1,633,498	1,590,580	1,673,137	1,611,682		
	国・都からの補助金等	19 千円	119,486	159,828	189,847	181,999	178,816		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			3.9	2.4	1.3		
人件費比率 (17÷18)	21 %	18.6	16.0	18.5	15.6	17.6			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>誰もが安全・安心に住みなれた地域で住み続けることができるよう、国は賃貸住宅等の民間住宅市場や既存ストックと活用重視への住宅施策を転換し、低所得者や高齢者等住宅確保要配慮者への居住の安定を図ることとしました。このため東京都は、高齢者の居住安定確保に関する法改正に基づく、サービス付き高齢者向け住宅制度創設による補助制度を活用した、ケア付住宅の整備に取り組んでいきます。さらに、高齢者等住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅等への入居支援を一層促進していくため、平成27年度時点で、東京都や特別区3区に居住支援協議会が設けられています。これについては、杉並区を含め未設置団体への設置に向けた取組要請が国・東京都よりあり、平成28年1月には「杉並区総合的な住まいのあり方に関する審議会」で、設置に向けた答申が出されています。</p> <p>また、国土交通省が全国の空家戸数(平成25年度で約820万戸、住宅総数の13.5%を占める)の一層の増加を予想しています。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>「誰もが安心して生活を継続できる多様な住環境」の実現に向けた住まいのあり方について、「総合的な住まいのあり方に関する審議会」を設置して審議を重ねました。審議会では、公営住宅の維持管理に重点を置いていた住宅施策を、空家の利活用を含めた民間の住宅ストックの活用に向けて展開していく重要性などが議論され、多岐にわたる施策提言が盛り込まれました。これまでも区は高齢者等の居住支援に積極的に取り組んできており、賃貸住宅あつせん件数などの実績を順調に伸ばしていますが、今後は、答申を受けて対象範囲の拡大や内容の充実に取り組むことが期待されています。</p> <p>また、総合的な空家対策として、法律に基づく空家等対策協議会の設置、空家等対策計画の策定の準備を開始しました。</p> <p>一方で、区有の既存ストックである区営住宅については、積極的な長寿命化工事を行い、引き続き有効活用を図るとともに、更なる高齢化に向けた対応を進めています。</p> <p>まちづくり施策では、住民との意見交換等を踏まえたまちづくり計画や地区計画の検討、自主的なまちづくり活動に対する支援等を通じて、良好な住環境の向上に取り組んでいきます。</p>
--	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>「総合的な住まいのあり方に関する審議会」の答申を受け、空家の利活用を含めた民間の住宅ストックの活用を促進するため、都市整備部門と保健福祉部門とが関係団体と協力して居住支援協議会を設立し、高齢者、障害者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居促進に、より一層積極的に取り組んでいきます。また、居住支援協議会における検討により、空家を含む既存住宅のリノベーションの推進や子育て世帯向けの良質な住宅提供策の構築など、今後の住宅施策の具体化を進めていきます。さらに、空家対策については、窓口の一元化、空家等対策計画の策定により総合的に取り組んでいきます。</p> <p>区営住宅については、バリアフリー対策の実施や長寿命化工事による入居戸数の確保と、高齢者・障害者・子育て世帯への入居優遇策の拡充などの施策を検討していきます。</p> <p>まちづくり施策については、区民等の自主的なまちづくり活動に対する支援制度の見直しを行うとともに、具体的なまちづくりの手法をよりわかりやすく提示することなどにより、良好な住環境の向上を図っていきます。</p>
--------------------------	--

# 平成28年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 良好な住環境の整備】

金額の単位は千円

( 00005 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成27年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要 事業				
1 367	まちづくり施策の総合的な推進			7,623	21,605	29,228	現状維持
2 368	用途地域などの案内調整			2,383	33,326	35,709	現状維持
3 369	都市計画道路公園緑地の案内調整			4	12,508	12,512	現状維持
4 373	地区整備計画			31,758	62,279	94,037	現状維持
5 376	まちづくり活動の支援			1,773	10,215	11,988	現状維持
6 381	区営住宅の住環境整備			113,855	3,499	117,354	現状維持
7 382	区営住宅の提供			282,419	26,552	308,971	現状維持
8 383	区民住宅の運営管理			69,707	13,121	82,828	縮小(廃止)
9 384	高齢者住宅の提供			599,467	34,871	634,338	現状維持
10 385	都営シルバーピアの運営			28,562	3,499	32,061	現状維持
11 386	高齢者等アパートの提供			63,826	21,663	85,489	推進(拡充)
12 387	住宅総合相談等			637	14,589	15,226	現状維持
13 388	住宅修築資金の融資あっせん			834	4,374	5,208	現状維持
14 389	区営住宅整備基金の積立金			119,452	1,749	121,201	現状維持
15 390	住宅施策の推進			3,076	15,395	18,471	推進(拡充)
16 399	空家等対策の推進			3,300	3,761	7,061	推進(拡充)
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,328,676	283,006	1,611,682	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成28年度 杉並区施策評価表 I

( 0006 )

施策	06	魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	まちづくり推進課	関係課 地域課 産業振興センター

施策目標 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人が訪れたいと活気が生まれています。また活かなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数	指標名(1)	住環境に満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数(～26年度) 駅周辺整備に関する相談・指導回数	指標名(2)	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	景観新聞の発行部数	指標名(3)	区内全駅の1日平均乗降人員
算式・指標説明		算式・指標説明	各鉄道会社の公表による(JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)
指標名(4)	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数	指標名(4)	「すぎなみ学倶楽部」のアクセス数
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		目標値	目標年度
			計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 回	30	30	31	13	19	
	活動指標(2)	2 回	75	100	96	3	3	
	活動指標(3)	3 部	5,000	5,000	6,000	5,000	6,000	
	活動指標(4)	4 回	16	16	22	16	18	
成果指標	成果指標(1)	5 %	91.9	92.0	92.0	92.5	91.0	95 平成33年度
	成果指標(2)	6 %	78.5	80.0	78.0	80.3	78.9	85 平成33年度
	成果指標(3)	7 人	703,599	0	706,238	717,300	724,064	759,000 平成33年度
	成果指標(4)	8 件	583,034	550,000	600,097	606,517	518,231	670,000 平成33年度
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	145,098	174,161	166,037	176,124	164,124	特記事項 成果指標(4)の平成27年度実績について、コンテンツやページ構成の変更等によりアクセス数が減少した。
	(内) 投資的経費等	12 千円	450	0	0	148	147	
	(内) 委託費	13 千円	69,211	99,727	97,212	102,708	98,027	
	常勤職員数	14 人	13.09	14.00	16.64	16.50	20.09	
	再任用職員数	15 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	非常勤職員数	16 人	1.00	3.00	3.00	2.50	2.50	
	人件費 (14+15+16)	17 千円	119,607	135,880	159,139	156,490	187,204	
	総事業費 (11+17)	18 千円	264,705	310,041	325,176	332,614	351,328	
	国・都からの補助金等	19 千円	22,936	0	0	0	0	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20 %			22.8	7.3	8.0	
人件費比率 (17÷18)	21 %	45.2	43.8	48.9	47.0	53.3		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>市街化が進み空地の少ない杉並区において、良さを伸ばし課題を解消していくハード面のまちづくりを進めるには、駅周辺などにおける老朽化した建物の更新期など、まちづくりのきっかけや地域の機運を的確に捉えて、区民や関係機関との適切な役割分担の下で計画的にまちづくりを進めることが必要です。</p> <p>訪日・訪都外国人旅行者数、消費額は連年急激に伸びており、これらのインバウンドにより増大する観光需要は千載一遇の好機です。訪日外国人旅行者の約6割が東京都を訪れている状況から、こうした訪都外国人旅行者を、戦略的な情報発信等により杉並区に誘引し「にぎわい・商機」に繋げていくことが求められています。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>地域特性を活かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを進めるため、ハード・ソフト両面の取組の連携を強化しながら、駅周辺や景観まちづくり、観光促進やアニメ振興等に取り組んできました。駅周辺では、荻窪まちづくり会議からまちづくり構想が提案され、阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくり方針を検討するなど、まちの将来像を定め地域と共有していく取組を進めました。今後は将来像の実現に向けた取組の具体化が必要です。また、西荻窪平和児童遊園の改善など地域発意のまちづくりや、景観計画の見直しや荻外荘の保存・活用などの景観まちづくりを着実に進めることができましました。「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ倶楽部」により、区の魅力を伝える情報発信の強化に努めました。また、区内案内マップの作成、トランスボックスへのラッピングやシンポジウム開催等を通じた区内のまち歩きを誘発を行うとともに、英語版ウェブサイトの開設や飲食店英語メニュー等、インバウンド対策としての情報の多言語化を推進する等、杉並の「良さ」「らしさ」を活かした更なるにぎわい・商機の創出に向けて取り組ましました。</p> <p>杉並アニメーションミュージアムでは、開館10周年記念として、トークショーやワークショップ等の記念イベントを実施しました。また、区内アニメ制作会社や商店街等の協力を得てまち歩き事業を実施するなど、アニメの振興とにぎわいの創出に向けて取り組ましました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>駅周辺は、商業機能など利便性の高い施設が集積する地域活力の拠点となる重要な場です。今後は荻窪駅や阿佐ヶ谷駅周辺にまちづくり方針を策定し、地域住民との協働や関係機関との連携・役割分担を進め、将来像の実現に向けて取組の具体化を図ります。あわせて、改定した景観計画に基づき景観への意識向上に向けた普及啓発の充実を図ります。また、まちづくりの機運醸成に取り組むことにより、区民の住環境への満足度向上を図っていきます。</p> <p>今後、都を訪れる旅行者とつなぐ外国人旅行者の持続的な増加が見込まれる中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を視野に、戦略的かつ効果的に観光事業を推進していくには「旅行者のニーズの把握」や受入側である「地域の熱意」の双方が必要となります。そのため、マーケティングの充実に努めるとともに、商店街等との連携を図りながら、来街者誘致に主体的に取り組む地域に対し、情報発信や観光資源の商品化支援等の側面支援を行います。このほか、アニメーションミュージアムについても展示内容の多言語化等により事業の充実を図ります。</p> <p>都市整備などのハード面の取組と、産業振興や文化振興等のソフト面の取組のさらなる連携強化を通じて、地域資源を活用した、区民が住み続けたいと思うまちづくり、訪れる人にとって魅力的なまちづくりを進めます。</p>
--------------------------	---

# 平成28年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 06】【施策名称 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり】

金額の単位は千円

( 00006 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成27年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 095	アニメの振興と活用			79,764	22,878	102,642	推進(拡充)
2 096	観光促進			48,622	59,703	108,325	推進(拡充)
3 375	景観まちづくり			14,072	36,369	50,441	推進(拡充)
4 379	都市再生事業			7,232	37,115	44,347	現状維持
5 380	多心型まちづくりの推進			14,434	31,139	45,573	現状維持
6	以下再掲事業分の評価表						
7 069	文化・芸術の振興						
8 094	商店街支援						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				164,124	187,204	351,328	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成28年度 杉並区施策評価表 I

( 00007 )

施策	07	地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興
目標	02	暮らしやすく快適で魅力あるまち
施策担当課	産業振興センター	関係課

施策目標	<p>区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。</li> <li>区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が活かされるようになってきています。</li> </ul>
------	---

活動指標		成果指標	
指標名(1)	融資あっせん件数	指標名(1)	就労支援センターの利用により、就職が決定した人数
算式・指標説明		算式・指標説明	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
指標名(2)	装飾LED化補助金交付本数	指標名(2)	創業支援による創業者数
算式・指標説明		算式・指標説明	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
指標名(3)	農家戸数	指標名(3)	商店街への満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(4)	就労準備相談・心としごとの相談件数	指標名(4)	区内農業産出額
算式・指標説明		算式・指標説明	東京都農産物生産状況調査による
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1	件	644	1,000	581	1,000	692	
	活動指標(2)	2	本	262	200	686	300	376	
	活動指標(3)	3	戸	152	152	150	150	146	
	活動指標(4)	4	件	1,804	1,920	1,927	2,000	2,022	
成果指標	成果指標(1)	5	人	606	0 以上	620	600 以上	829	年600人以上 平成33年度
	成果指標(2)	6	件	0	0	0	45	52	年45件 平成33年度
	成果指標(3)	7	%	60.3	60	58.9	61	58.9	65 平成33年度
	成果指標(4)	8	(百万円)	330	0	330	340	322	370 平成33年度
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11	千円	641,128	1,050,637	640,294	1,182,340	1,070,833	特記事項 平成27年度は、杉並プレミアム商品券の発行に対する助成を行ったため、他の年度に比べて事業費が増えています。
	(内) 投資的経費等	12	千円	0	0	0	94,601	87,347	
	(内) 委託費	13	千円	176,331	209,919	200,161	301,459	285,499	
	常勤職員数	14	人	20.19	17.80	16.68	14.30	16.97	
	再任用職員数	15	人	1.16	1.00	1.21	1.00	1.08	
	非常勤職員数	16	人	8.62	10.37	7.61	8.61	9.02	
	人件費 (14+15+16)	17	千円	202,681	190,216	173,388	154,399	179,380	
	総事業費 (11+17)	18	千円	843,809	1,240,853	813,682	1,336,739	1,250,213	
	国・都からの補助金等	19	千円	69,984	78,628	89,003	302,977	300,079	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	20	%			3.6	7.7	53.6	
人件費比率 (17÷18)	21	%	24.0	15.3	21.3	11.6	14.3		

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国・都の動き、 区民意見等)</p>	<p>国は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善などにより経済再生・デフレ脱却に向けて前進している一方、国外情勢や資源価格の下落など世界経済の不透明感が増している、としています。区内経済環境は必ずしも好転しているとはいえませんが、引き続き厳しい状況が続いています。</p> <p>特に、区内産業が抱える共通の課題として、事業主の高齢化や後継者不足、売上高の減少などがあり、これらの課題は、将来を見据えた持続可能な経営活動や区内産業の活性化・発展を妨げる可能性があります。</p> <p>また、東日本大震災以降、防災などの多面的機能を持つ都市農地に対する区民の期待が高まる中、平成27年4月に都市農業を法的に位置づける都市農業振興基本法が制定されました。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>中小企業資金融資制度については、事業の一層の安定化や経営基盤の強化、創業支援に資するものとするとともに、区内産業経済団体への加入促進を図る観点から、団体加入者への利率優遇を図るなどの見直しを行い、平成27年4月に制度を改正しました。この改正により、融資制度の利用実績は大幅に伸び、また、制度利用にあわせて産業経済団体に加入する事業者も出てきています。</p> <p>平成27年度から就労支援センターの各コーナーを統合し、生活自立支援窓口との連携も開始しました。雇用情勢が好転し、ハローワークコーナー利用者の就職件数は増加していますが、一方では、就労阻害要因を抱え支援に時間を要する相談者は増加しており、より一層の対応が必要となっています。</p> <p>また、区内事業者と更なる協力関係を構築するため、求人開拓などの連携を強化した結果、区内事業者の求人情報が大幅に増加しました。</p> <p>区内農業産出額が低下している中、区民の貴重な財産である都市農地の減少に歯止めをかけることを目指し、配送支援による学校給食「地元野菜デー」の開催数増や、障害者を雇用する区内飲食店への杉並産野菜の提供など、事業者やNPO等との連携により地産地消の取組を進めました。</p> <p>また、国の地方創生交付金等を活用した杉並プレミアム商品券の発行支援を行い、一定の消費喚起効果が生じるとともに、杉並区商店会連合会への加入が促進されました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p> <p>景気の先行きが不透明な中であっても、区としては引き続き中小企業の事業承継や経営基盤の強化、創業や新たな事業展開を支援するため、経営相談や異業種交流会、創業セミナーなどを実施するとともに、就労意欲がありながら雇用機会に恵まれない若者等の就労支援を進めます。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、観光事業と連携して区内外からの集客力向上を図るとともに、意欲的な商店街に対する外部人材を活用した取組支援や、地域の「良さ」「らしさ」を活かした取組に積極的な支援を行うことなどにより、商店街を中心としたまちのにぎわいと商機の創出を拡充していきます。</p> <p>都市型農業を取り巻く環境は、平成27年4月の都市農業振興基本法の制定を受け、今後、大きな動きが予想されます。こうした中、国にこの基本法を踏まえた都市計画制度や税制度の改正を求めつつ、区としても、農業者の経営支援や、農業公園の運営などによる区民が農とふれあう場の創出、区内事業者の食堂や飲食店での杉並産野菜の活用などの地産地消事業の推進、農業情報誌の発行など、幅広い視点から都市型農業の振興に取り組みます。</p>
<p>今後の進め方</p>	

# 平成28年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 07】【施策名称 地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興】

金額の単位は千円

( 00007 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成27年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 093	中小企業支援			100,243	35,921	136,164	現状維持
2 094	商店街支援			603,049	37,797	640,846	推進(拡充)
3 097	産業振興の基盤整備			52,768	23,911	76,679	現状維持
4 098	産業商工会館維持管理			34,404	11,406	45,810	現状維持
5 099	農業委員会の運営			6,283	9,161	15,444	現状維持
6 100	農業の支援・育成			26,895	21,184	48,079	推進(拡充)
7 101	都市農地確保			22,512	11,221	33,733	現状維持
8 102	勤労福祉会館維持管理			63,777	875	64,652	現状維持
9 104	就労支援			75,670	22,481	98,151	推進(拡充)
10 105	産業商工会館の改修			85,232	5,423	90,655	その他
11	以下再掲事業分の評価表						
12 095	アニメの振興と活用						
13 096	観光促進						
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,070,833	179,380	1,250,213	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	105「産業商工会館の改修」については、平成27・28年度のみのものであるため、事業の方向性を「その他」としています。
-------------------------	---